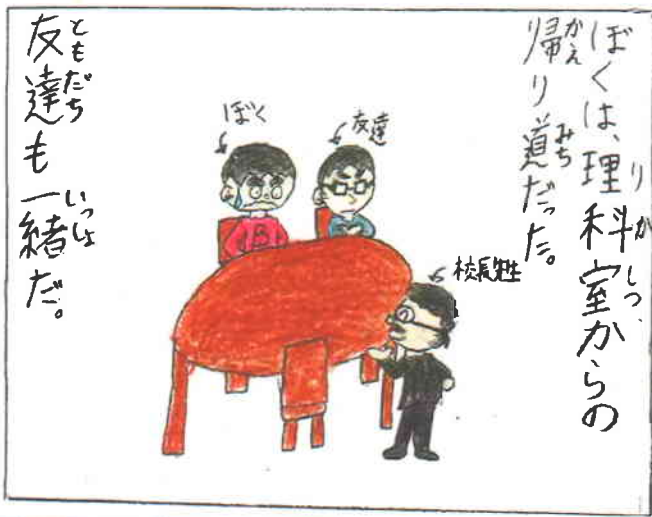


みらいの落とし穴



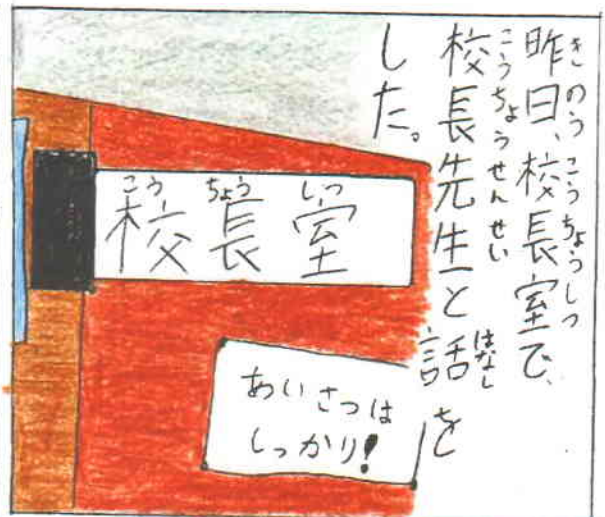
未来





友達も一緒だ。

ぼくは理科室からの帰り道だった。



昨日、校長室で校長先生と話をした。



いえ、知らないです。



「お米の落し穴って、知ってるかい？」

その時、いきなりだ。



たぶん、大事な入学試験の前に、忘れものをするとか、さくさくさくとかね。

ううう!!

そんなにわざわざないだろう。



でもね、人生の一番大事な時に力を発揮できない人が、なせか、いるんだな。

ええん!?









なんでもまじめに取組む  
 ことか、おれに待ちうける  
 「おれとしゃべりなせよ、  
 埋めることになるんだよ」



ひも、今の自分の心に  
 しっくりくるのは  
 なせだろう？



あれはただ、夢を見ていたのだろうか。  
 短かい会話であった。

ほんほん  
 本当本当  
 にに  
 あるような気が  
 かしてきた。

「おれとしゃべりなせよ、  
 埋めることになるんだよ」



おしまい